

8.人と自然を大切に作るみちづくり 現況の詳細把握

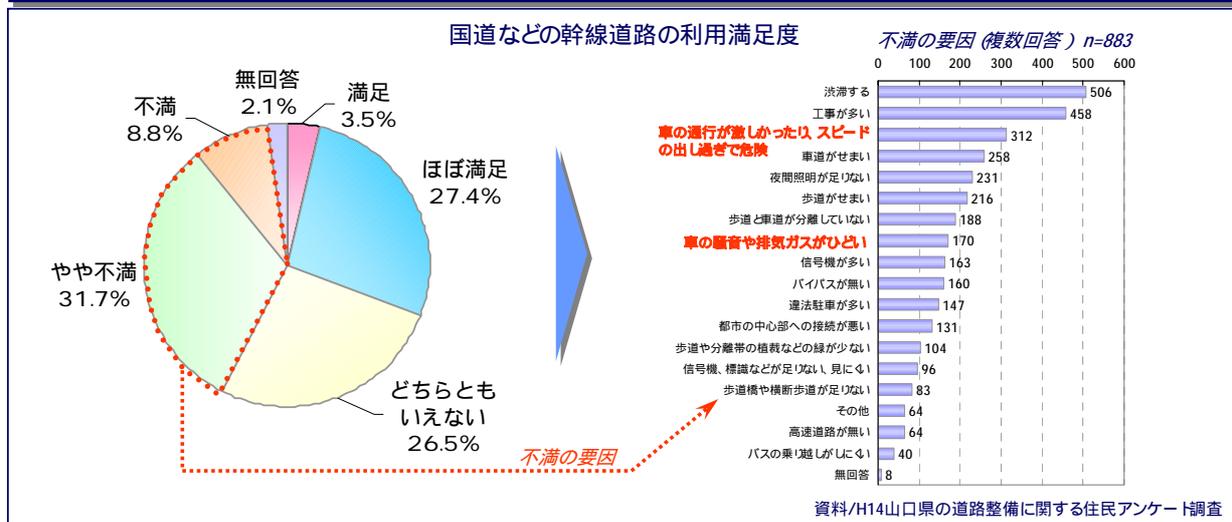
政策テーマ「人と自然を大切に作るみちづくり」に対して、本プランでは安全性指標として、「CO₂排出量」、「歩道設置率」、「死傷事故率」をアウトカム指標として設定します。そこで、現況把握を行ったうえで、各指標の平成16年度における目標値を設定します。

幹線道路に関する住民意識

関連アウトカム指標

▶ CO₂排出量 歩道設置率 死傷事故率

山口県の道路整備に関する住民アンケート調査（H14）では、幹線道路に対する不満が4割（満足は3割）を占めており、中でも事故に関連する要因が上位になっています。また、沿道環境（騒音や排気ガス）に関する不満も高くなっています。

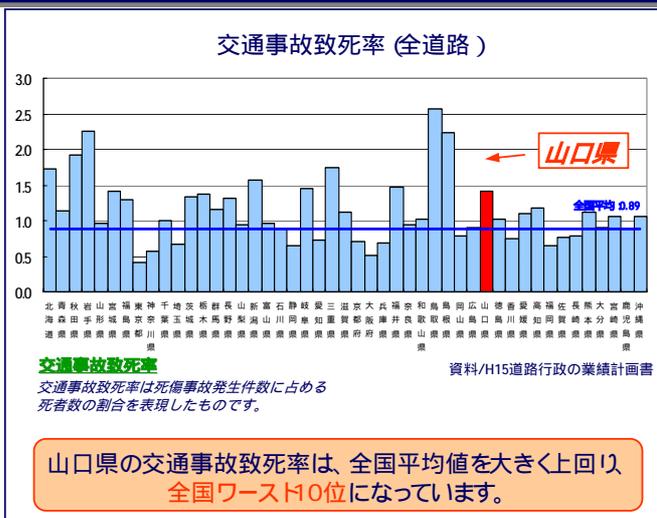
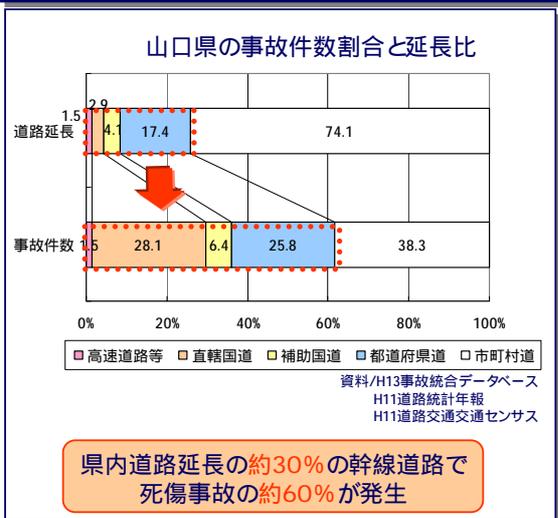


死傷事故発生状況

関連アウトカム指標

▶ 死傷事故率

山口県における死傷事故は、直轄国道での発生頻度が高くなっています。また、事故による致死率は全国ワースト10位になっています。



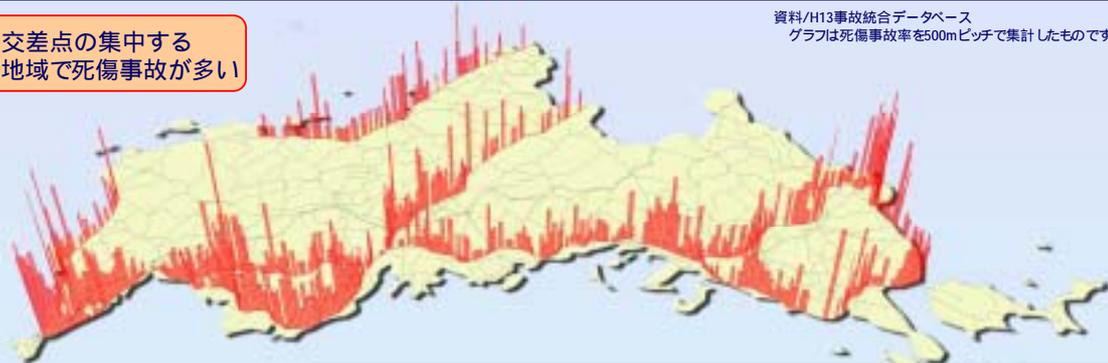
8.人と自然を大切にするみちづくり 現況の詳細把握

直轄国道における死傷事故の主な要因は以下のようになっています。
 交通が集中し交差点の多い市街地での発生割合が高くなっています。
 走行速度が速くなる郊外地域での事故致死率が高くなっています。

死傷事故率からみた事故の発生状況

交差点の集中する市街地で死傷事故が多い

資料/H13事故総合データベース
 グラフは死傷事故率を500mピッチで集計したものです

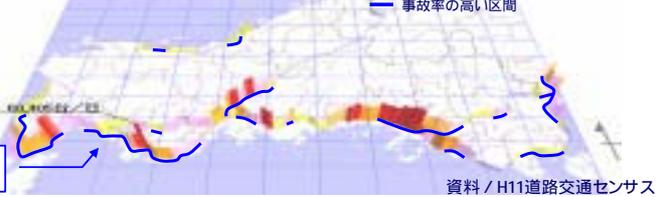


死傷事故発生箇所 (直轄国道)



値は死傷事故件数に対する割合

交通量と死傷事故率の高い区間



死傷事故率が県平均以上の区間

資料 / H11道路交通センサス

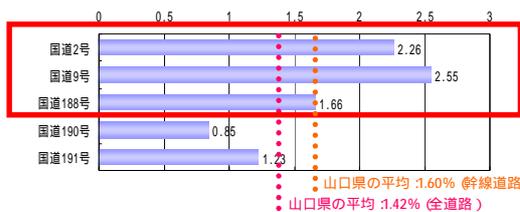
交通事故致死率から見た事故の発生状況

比較的走行速度の高い郊外部で事故致死率が高く命に関わる重大な事故が発生

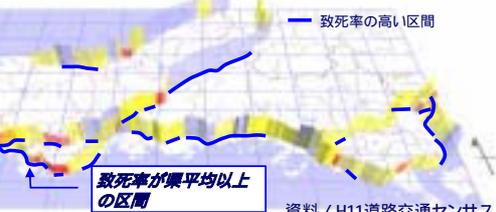
資料/H13事故総合データベース
 グラフは致死率をセンサスピッチで集計したものです



路線別交通事故致死率



混雑時旅行速度と致死率の高い区間



致死率が県平均以上の区間

資料 / H11道路交通センサス

8.人と自然を大切にするみちづくり アウトカム目標

H16年度の具体的な効果をアウトカム指標によって示します。

アウトカム
指標

- CO₂排出量 (自動車交通)
- 歩道設置率
- 死傷事故率

アウトカム指標による目標値

CO₂排出量 (自動車交通)

現況値

320万
t-CO₂/年

平成16年度

削減に努めます

平成19年度

300万
t-CO₂/年

H19年度までには、20万 tCO₂/年の削減に努めます。

歩道設置率

現況値

39.8%

平成16年度

40.2%

平成19年度

42.0%

H16年度は、一般県道三田尻徳地線等を整備することにより、歩道設置率を0.4% (約17km) 向上させます。

<代表効果事例>

一般県道三田尻港徳地線 (防府市真尾) による効果

当該路線 (19.0km) の歩道設置率を9.8% (1.9km) 向上させます (49.1% → 58.9%)。なお、当該事業は小学校の通学路に指定されていることから事業による効果が大きいと考えられます。

死傷事故率

現況値

103
件 / 億台キロ

平成16年度

削減に
努めます

平成19年度

削減に
努めます

H16年度は、一般国道2号花岡拡幅等の整備により死傷事故の削減に努めていきます。

<代表効果事例>

一般国道2号花岡拡幅

当該区間の死傷事故率を現況の69.6件 / 億台キロから49.2件 / 億台キロまで低減が期待されます。

8.人と自然を大切にするみちづくり アウトカム目標

アウトカム指標の解説および関連事業

(指標解説)

・CO₂排出量 (自動車交通)

ガソリン消費、軽油消費、LPG消費を足し合わせたもの。

歩道設置率

県道以上の総延長 (約3,850km) に対する歩道設置延長の割合。

死傷事故率

交通量および延長 (走行台キロ) に対する事故件数の多さを表現したもの。

(目標達成に向けての主な事業)

一般国道2号花岡拡幅

主要地方道光上関線 平生町丸山

主要地方道光上関線 田布施町城南

一般県道三田尻港徳地線 防府市真尾